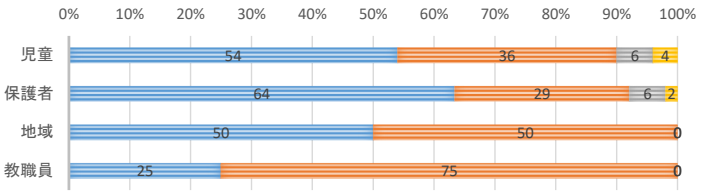
令和7年度　学校評価アンケート（児童・保護者・地域・教職員）　結果

松戸市立馬橋小学校

1 児童は楽しく学校生活を過ごしていたか

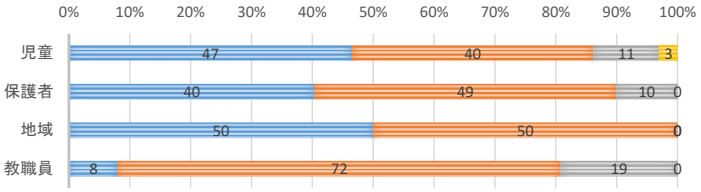
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	54	36	6	4	3.4	3.4
保護者	64	29	6	2	3.5	3.6
地域	50	50	0	0	3.5	3
教職員	25	75	0	0	3.3	3.2



多くの児童や保護者の方が楽しい学校生活を送ることができたと感じていますが、楽しくないと感じている児童も一定数いるのが現状です。多くの児童が、「今日も学校へ来て、よかった。楽しかった。」と日々思えるような工夫を凝らした教育活動ができるように、教職員一丸となって邁進して参ります。家庭や地域で何か気になることがありましたら、お知らせください。

2 児童はあいさつや返事がすすんでできていたか

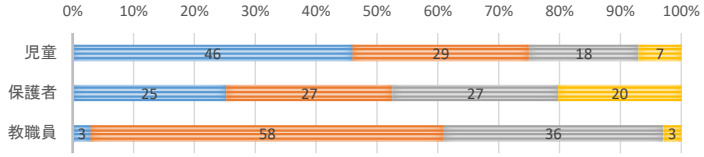
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	47	40	11	3	3.3	3.4
保護者	40	49	10	0	3.3	3.2
地域	50	50	0	0	3.5	3.3
教職員	8	72	19	0	2.9	2.6



児童は比較的挨拶や返事ができていると感じていますが、教職員の目からは少し物足りなさを感じている結果となっています。挨拶は人間関係を築き、コミュニケーションを円滑にする上で非常に重要な働きがあり、社会に出てからも必要とされるものです。「あ：明るく、い：いつでも、さ：先に、つ：続けて」を合言葉に、学校内外問わず、相手の心に届く挨拶ができるよう、これからも指導していきます。子どもたちを温かく見守ってくださる地域の皆様にも積極的に挨拶をしていきましょう。

3 児童はすすんで読書ができたか

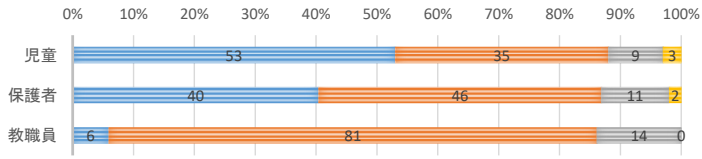
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	46	29	18	7	3.1	3.2
保護者	25	27	27	20	2.6	2.5
教職員	3	58	36	3	2.6	2.7



それぞれの立場によって、捉え方が大きく異なることが分かります。家庭では読書をする姿があまり見られないのかもしれませんが、学校では図書室での読書の時間の確保や本の貸し出しを行うなど、読書の励行を継続的に行っています。本を読む機会を作っていますが、児童自ら「すすんで」というところが課題であると考えます。児童の興味のあるものは多岐に渡り、読書よりも目が向くものが多いことも考えられます。大人の活字離れが進んでいるからこそ、引き続き、読書の大切さを教えながら、本を読む楽しさを伝えていきたいと思います。

4 児童は計算力が身についているか

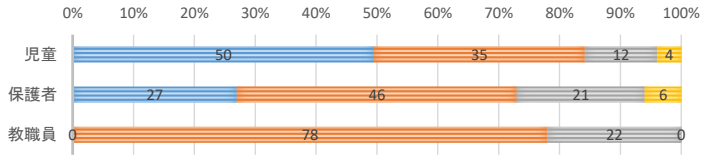
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	53	35	9	3	3.4	3.4
保護者	40	46	11	2	3.2	3.2
教職員	6	81	14	0	2.9	2.7



計算力が身に付いていると感じている児童が多いです。ドリル学習に粘り強く取り組んだり、授業において理解を深めたりすることで、自信をつけていると考えます。教職員としては、「本校の児童はもう少しできるはず」と感じていますが、児童、保護者の方の評価は比較的高い傾向にあります。計算練習などは、家庭学習の課題にもなることが多いため、ご家庭では、お子様の学習内容やつまづき等の把握をしていただくと共に、お子様の頑張りを褒め、認めていただけたらと思います。学校と保護者の方が同じ方向を向き連携して、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えております。

5 児童は漢字や作文を書く力が身についているか

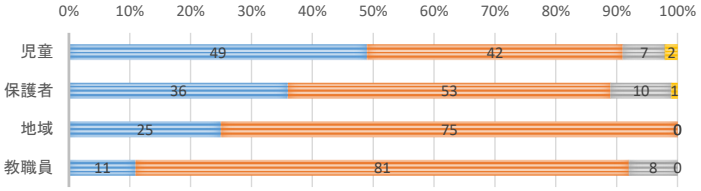
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	50	35	12	4	3.3	3.3
保護者	27	46	21	6	2.9	2.9
教職員	0	78	22	0	2.8	2.5



昨年度同様、読書の項目と傾向が似ており、児童の自己評価と保護者・教職員の評価数値が離れています。漢字や作文を書けるようになるために頑張っていると感じている児童が多いものの、それを見取る教職員の評価が低いということは、成果として結びついていないという傾向があり、課題と考えられます。朝自習等の時間を利用して、文を書く練習の機会を今後増やせるようにしていきたいと思います。

6 児童は友達にやさしい言葉で話していたか

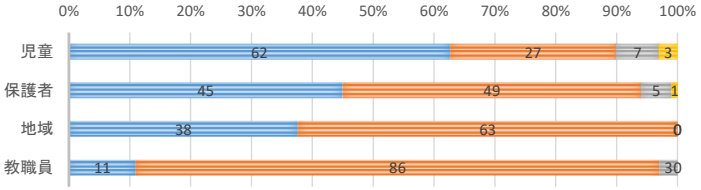
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	49	42	7	2	3.4	3.3
保護者	36	53	10	1	3.2	3.2
地域	25	75	0	0	3.3	3.2
教職員	11	81	8	0	3	2.7



児童・保護者・地域の評価と比べて、教職員の評価がやや低い結果となりました。乱暴な言葉遣いは、人間関係を悪化させたり、いじめの問題に発展させてしまったりすることがあり、見過ごせない問題です。道徳や学級活動など教育活動全体を通して、やさしい言葉遣いの大切さを指導していくと共に、今後もその都度必要に応じて指導を重ねていきます。ご家庭でも、お子様のやさしい言葉遣いを促していっていただけたらと思います。

7 児童はけがや事故にあわないよう安全に気をつけ、友だちと仲良く遊ぶことができたか

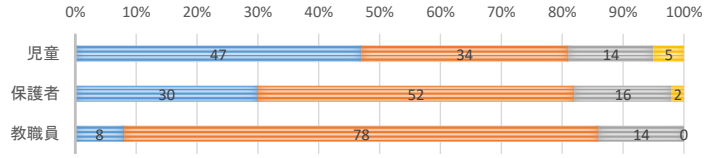
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	62	27	7	3	3.5	3.5
保護者	45	49	5	1	3.4	3.4
地域	38	63	0	0	3.4	3.2
教職員	11	86	3	0	3.1	2.7



けがや事故にあわないよう、周囲の状況を確認することを怠らないことはもちろんですが、遊び方を知ったり、体力を向上させたりすることも安全につながると考えます。年々児童の体力が低下傾向にあるためか、転んだ時に手を付くことができず、大きなケガにつながるような事案も以前より増えております。運動の機会の確保を継続するとともに、けがに気をつけながら、外遊びや体育学習に取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。

8 児童は自分で目標を決めてがんばることができたか

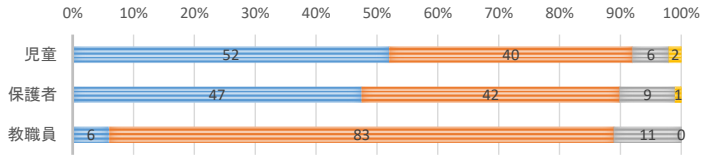
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	47	34	14	5	3.2	3.2
保護者	30	52	16	2	3.1	3
教職員	8	78	14	0	2.9	2.9



昨年同様、他項目よりも児童の自己評価が低く、課題があると感じている児童の割合が多いです。学期の初めや行事の取り組みに対して、目標を設定し、その目標に向かってどのようにアプローチするか発達段階に応じて、取り組んできました。また、日々の学習においては、学習問題を設定し、その時間内の課題解決を行っていますが、その意識を常に維持させることができなかったのかもしれません。日々の学習で目標を設定し、達成感を味わわせる活動を多く取り入れていけるよう努力していきます。

9 児童はきまりを守って生活していたか

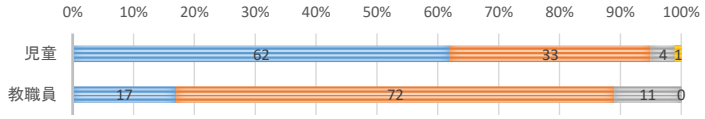
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	52	40	6	2	3.4	3.3
保護者	47	42	9	1	3.4	3.3
教職員	6	83	11	0	2.9	2.8



集団生活の場で、きまりを守ることは大変必要なことであり、それができることはすばらしいことです。今後も、きまりはみんなの生活を守るもの、快適に過ごすために必要不可欠であるもの、より良くするものでもあることを教えていきます。また、なぜそのきまりが必要なのかを考えさせる機会を意図的に増やしていきます。

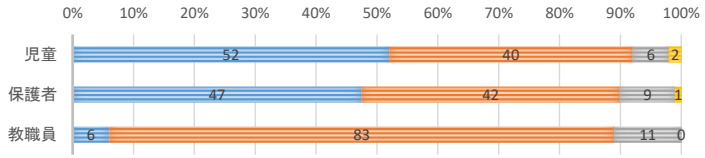
10 児童はそうじをしっかりとすることができたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	62	33	4	1	3.5	3.4
教職員	17	72	11	0	3.1	2.7



学校は、校舎内外の整備やふさわしい環境づくりに努めているか

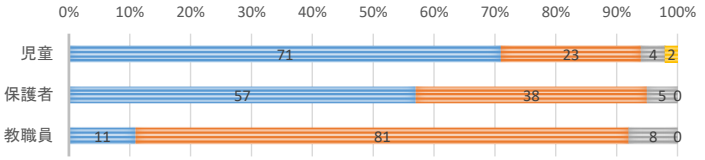
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	35	57	6	2	3.3	3.2
地域	25	75	0	0	3.3	3
教職員	11	75	14	0	3	2.8



歴史ある校舎のため、整備が行き届いていない部分も多々ありますが、児童が清掃活動にすすんで取り組んでいることで、環境が保たれていることを実感します。施設に関しては改修を市に要望してきましたし、これからもしていきたいと思います。また、学習環境という点においても、各学年や教室の掲示物も、教職員が工夫を凝らして作成しています。引き続き努力して参ります。

11 教師はわかりやすい授業づくりに努めていたか

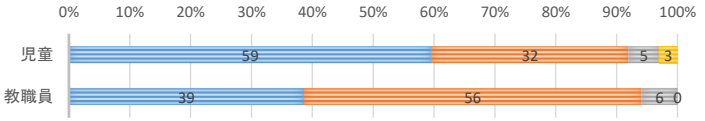
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	71	23	4	2	3.6	3.7
保護者	57	38	5	0	3.5	3.50
教職員	11	81	8	0	3	3



児童がわかる喜びを感じることが、教職員にとっての一番の喜びです。多くの児童・保護者の方がわかりやすい授業と捉えてくださり、ありがとうございます。研修を重ね、子どもたちが主体的に考え、わかる喜びを感じてくれるような授業の改善を進めていきます。

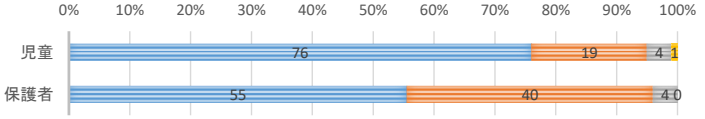
12 教師は、児童の話をよく聞いていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	59	32	5	3	3.5	3.6
教職員	39	56	6	0	3.3	3.1



家庭では、児童の話をよく聞いていたか

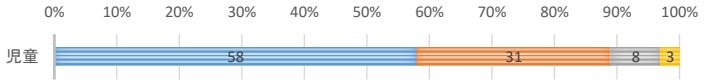
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	76	19	4	1	3.7	3.7
保護者	55	40	4	0	3.5	3.5



学校でも家庭でも、子どもたちの声をしっかり受け止めていることがわかります。嬉しかったこと、悲しかったことなど、様々な思いを抱えている子どもたちの話を日々じっくり聞く機会を増やしていけるようより一層努力していきます。ご家庭でも、お忙しい中かと思いますが、引き続き子どもたちの話に耳を傾けてあげてください。

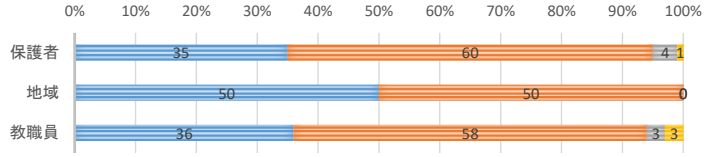
13 安全や病気の予防に気をつけていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	58	31	8	3	3.4	3.4



学校は、安全や感染症予防に努めた教育活動を行っていたか

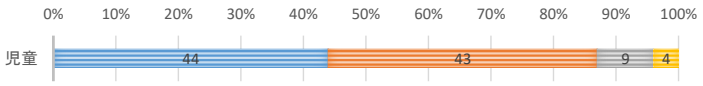
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	35	60	4	1	3.3	3.2
地域	50	50	0	0	3.5	3.2
教職員	36	58	3	3	3.3	3



健康安全という点では特に夏季に熱中症対策、冬季にインフルエンザやノロウイルス等の感染症対策を継続的に行っています。安全面は最優先されるべき事項です。避難訓練の定期的実施、校舎内外の安全点検を徹底することで、事故や災害に対する備えも欠かさず行っていきます。また、1・2年生は校庭で、3年生はユーカリ交通公園で、交通安全教室を開催しました。松戸東警察署の方から、全校児童対象に放送にて交通安全の大切さの講話をしていただき、児童の安全意識の向上を図りました。

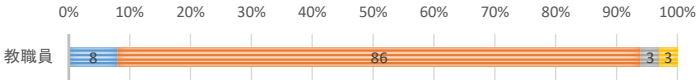
14 自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えるように気をつけていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
児童	44	43	9	4	3.3	3.2



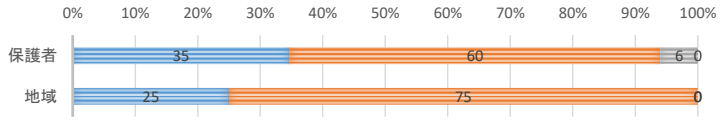
自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようとしていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
教職員	8	86	3	3	3	2.9



学校は、自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようと努めているか

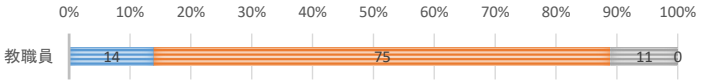
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	35	60	6	0	3.3	3.3
地域	25	75	0	0	3.3	3



年間を通して、授業内で「考えを持つ時間」や「考えを伝える場面」を積極的に増やすよう意識して授業改善を進めてまいりました。時間の確保だけでなく、その内容を吟味しながら、今後も自分の考えをもち、伝え合うことができる児童の育成を目指していきます。

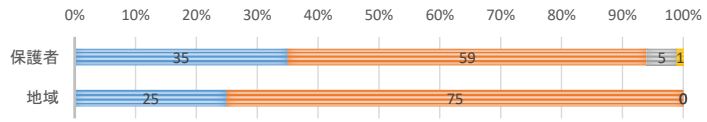
15 家庭・地域との連携やコミュニケーションに努めていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
教職員	14	75	11	0	3	3



学校は、家庭・地域との連携やコミュニケーションに努めていたか

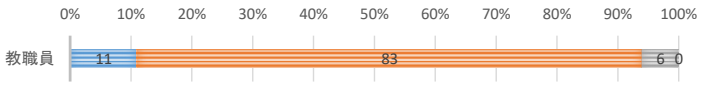
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	35	59	5	1	3.3	3.3
地域	25	75	0	0	3.3	3.1



運動会や授業参観、ミニ集会等、保護者や地域の方々が来校できる機会を増やしてきました。担任と保護者の連絡帳や電話、スクリレでのやりとりを引き続き丁寧に行い、今後も情報伝達・共有を行っていくとともに、学校・家庭・地域で連携しながら、児童を育てていきたいと思います。

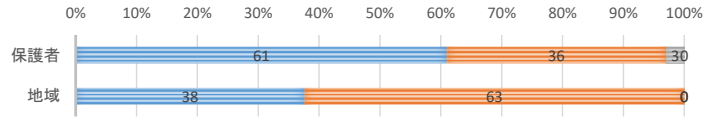
16 職務にふさわしい服装や言葉遣いで対応していたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
教職員	11	83	6	0	3.1	3



教職員は、職務にふさわしい服装や言葉遣いで対応いていたか

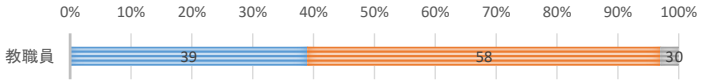
	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	61	36	3	0	3.6	3.5
地域	38	63	0	0	3.4	3.1



多くの方に好意的に捉えていただき、ありがとうございます。教職員自身が丁寧な言葉遣いをすることで、児童も適切な言葉遣いができるようになります。教育公務員としての自覚を持ち、引き続き職務にふさわしい服装や言葉遣いを心がけていきます。

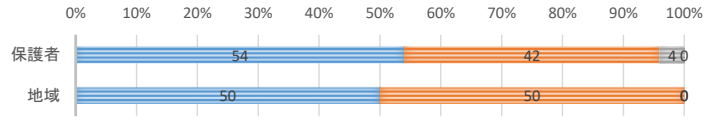
17 児童一人ひとりを大事にできたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
教職員	39	58	3	0	3.4	3.2



教職員は、子ども一人ひとりを大事にしていたか

	数値は% 小数点以下四捨五入				最大値4	前年度
	4	3	2	1	平均値	平均値
保護者	54	42	4	0	3.5	3.4
地域	50	50	0	0	3.5	3.1



我々教職員は、本校の児童全員を大切に思って、日々指導にあたっています。そのことが多くの方々に伝わっているという結果となり、非常に嬉しく思います。今後も全教職員で育てていく所存ですが、児童の実態に合わせた指導を必要とする場面もあります。学校と保護者の方が同じ方向を向き連携していくことで、子どもたちの能力が大きく伸長していくものだと考えております。何か気になることがありましたら、遠慮なく学校までお問合せください。

今年度も、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございました。
その他、自由記述欄に多くの温かい労いのお言葉や、厳しいご意見を頂戴いたしました。
それらを真摯に受け止め、次年度に生かして参ります。次年度も、何卒よろしくお願いいたします。